

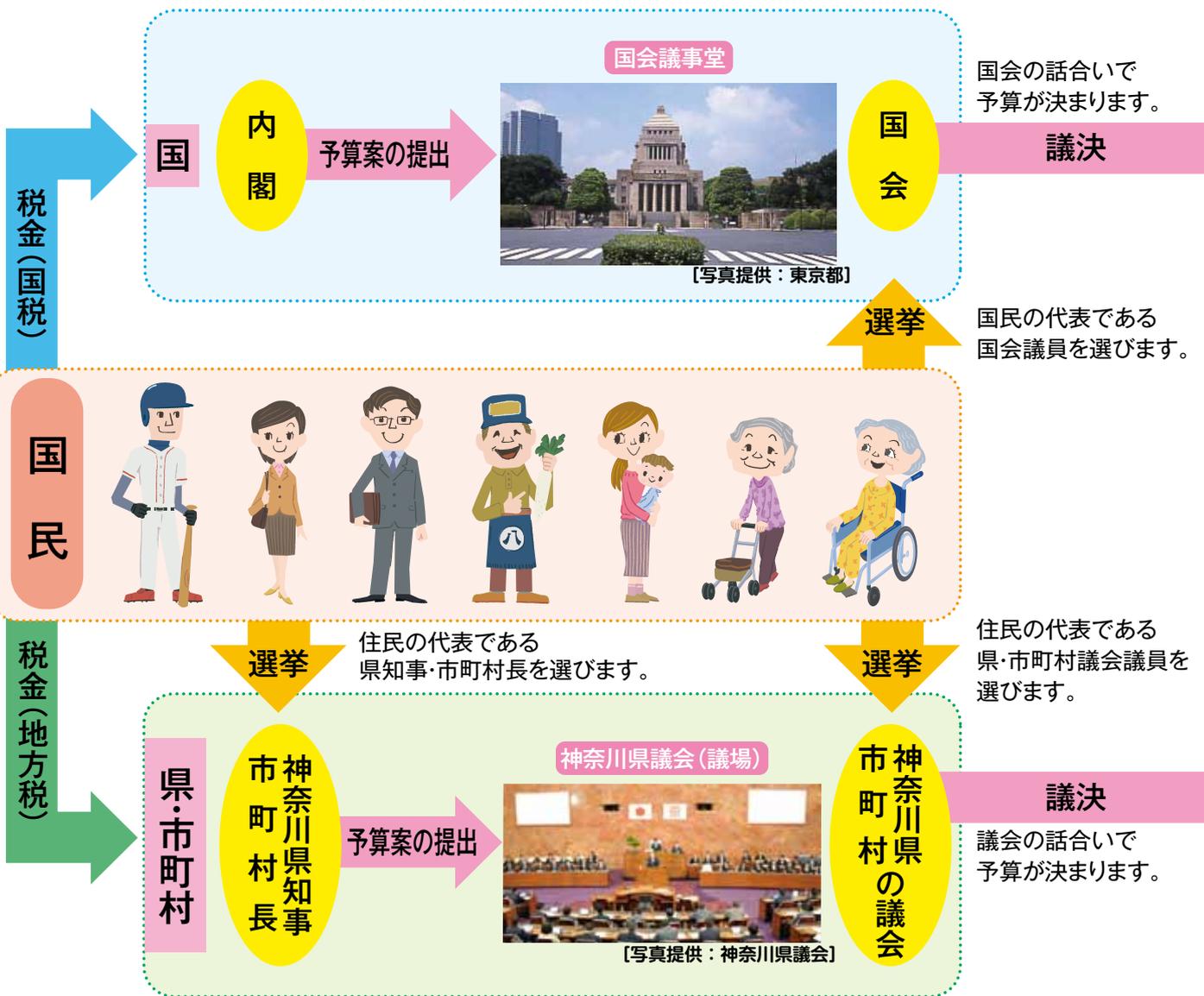
3 税金の使いみちはどうやって決めているの？

国や県などが、1年間に入るお金（歳入）と使うお金（歳出）を、あらかじめ見積もって計算したものを「予算」といいます。予算は、話し合いで決められています。

【国の予算の決め方】

国に入るお金のうち約62%は国民が納める税金（国税）です。国は、国民のくらしを豊かにするために、これらのお金をどう使うかを話し合いで決めています。まず、内閣が1年間に入るお金（歳入）と、使うお金（歳出）の計画（予算案）を作ります。

そして、その予算案について、国民の代表である国会議員が国会で話し合い、予算が決めます。



【県の予算の決め方】

県に入るお金のうち約64%は県民が納める税金（地方税）です。県は、県民のくらしに必要なことを地域の意見や状況を考慮して、これらのお金をどう使うかを話し合いで決めています。まず、知事が1年間に入るお金（歳入）と、使うお金（歳出）の計画（予算案）を作ります。

そして、その予算案について、県民の代表である県議会議員が県議会（市町村の予算の決め方も同じです）で話し合い、予算が決めます。

【公債金・県債ってなに？】

国や県で使うお金が税金だけでは足りないときに国や県が借金をして得るお金のことです。

【交付金ってなに？】

国と県・市町村との財政バランスを保つため、国から県・市町村に支出されるお金のことです。

【将来の税はどうなるの？～国の借金～】

国で使うお金の約7割は税金やその他の収入ですが、残りの約3割は「公債金」で補っています。

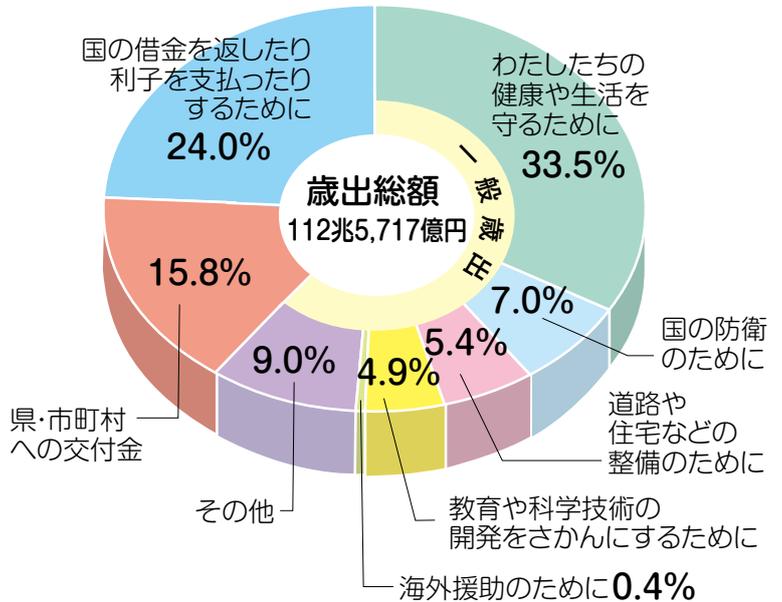
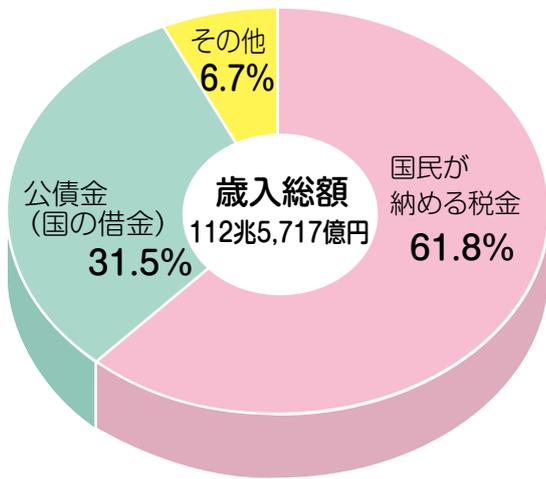
国民の生活を守るために借金をしてでも、すぐに行わなければならない仕事があるからです。

借りたお金は返さなければいけませんので、税金を使って返しています。この返さなければならないお金が増えていることが、今、日本で問題となっています。

この問題を解決するにはどうしたらいいのか
みんなで話し合おう！



◆国の予算 (令和6年度一般会計当初予算)



◆神奈川県予算 (令和6年度一般会計当初予算)

